

MY WAY MY LIFE

26 カーの楽しみ



エリザベス・オリバー
(エッセイスト)

私が初めて買った車は、モリス・マイナー・一〇〇〇でした。ヒーターのないオープンカーですから、冬にはふるえながらなければなりません。それでも、学生生活をエンジョイするには、最適でした。できるだけ多くの友達をつめこんで、がやがや、わいわいあちこちへでかけたものでした。モリス・マイナー・一〇〇〇は、もう作られていませんが、クラシックな車の一つとして珍重がられ、イギリスでは、まだ、よく見かけます。

次に買ったのは、ミニです。フォルクス・ワーゲンとともに、あの頃には評判のよい車でした。私にとっては、大変な冒険の車になりました。大学を卒業した年の夏、友達とアジアへのドライブ旅行に出かけることにしました。アジアのどこへ行くというのではありません。こちらがインドの方角ということでした。ミニを走らせたのです。結局はテヘランまで行って引き返すことになったのですが、若い女の二人旅としては、信じられないようなものになりました。ユーゴスラビアのザグレブを出たのは夕方でしたが、その翌日には、ザグレブ一帯は、今世紀で最も激しい地震に見舞われて、多くの犠牲者も出ました。もし私達がその晩ザグレブに泊っていたら、どうなったことでしょうか。シリヤからレバノンに入ったのですが、引返そうとすると、国境が閉鎖されていました。クーデターが起ったのです。ヨルダンの砂漠を横断するのに五日かかりましたが、ガソリンはふんだんにあっても、水がないのに開口しました。イラクの首都バグダッドに着いた時は、革命の真っ最中。街のあちこちで人が殺されています。大使館に逃げこみましたが、窓の外から絶えず聞えてくる機関銃の音が無気味でした。イラクとイランの間に横たわる山間部では、山賊におびえながら、ひどい山道を走りました。ところが、どしゃ降りの雨が降ってきたと思ったら鉄砲水。あつという間に車もろとも川におし流されました。しばらくの間、あつという間に車もろとも川におし流されました。

か、あつという間にやってきた大水は、あつという間に引き、私達も、車のジープに救出されました。ミニは小さいけれども、本場に強い車です。この一万五千キロの冒険旅行で、故障したのは一回だけでした。

日本へは、MGCをもつてきました。スタイルも良く、スピードもずいぶん出ます。乗り心地でも、まだ一部のお金持ちの車が大衆化するのには、ドイツのメルセデス・ベンツ、アメリカのヘンリー・フォードといった人達のおかげですが、一九二〇年代でも、まだ一部のお金持ちの車でした。クラシック・カー

ます。いっせいに勢いよくスタートといつても、人が走れば簡単に追いつけるスピードで、出るのはいくつもの爆音だけ。たいていはエンコしてゴールにたどりつけません。このようなレースに、十九世紀の紳士、淑女の装いで、真面目くさって参加する。イギリス人気質の真骨頂でしょうか。

自動車は、単にある所からある所に行ってくれる機械だけではないのです。若者には、若者らしい見栄や冒険の夢。年配いた者にも年齢にふさわしいノスタルジヤの夢。夢といつしよにどこへでも好きな所に行けるのが、カーの楽しみなのです。



タルジヤの夢。夢といつしよにどこへでも好きな所に行けるのが、カーの楽しみなのです。

豊かな暮らしを求めて

【第三種郵便物認可】

【全面広告】

二人旅としては、信じられないようなものになりました。ユーゴスラビアのザグレブを出たのは夕方でしたが、その翌日には、ザグレブ一帯は、今世紀で最も激しい地震に見舞われて、多くの犠牲者も出ました。もし私達がその晩ザグレブに泊っていたら、どうなったことでしょうか。シリヤからレバノンに入ったのですが、引返そうとすると、国境が閉鎖されていました。クーデターが起ったのです。ヨルダンの砂漠を横断するのに五日かかりましたが、ガソリンはふんだんにあっても、水がないのに開口しました。イラクの首都バグダッドに着いた時は、革命の真っ最中。街のあちこちで人が殺されています。大使館に逃げこみましたが、窓の外から絶えず聞えてくる機関銃の音が無気味でした。イラクとイランの間に横たわる山間部では、山賊におびえながら、ひどい山道を走りました。ところが、どしゃ降りの雨が降ってきたと思ったら鉄砲水。あつという間に車もろとも川におし流されました。

地が良く、長距離のドライブには最適です。東海、北陸、山陰、四国と、いろいろな所に行きました。ずいぶん気に入っていたのですが、車の激増ともなつて、信号も増え、規制も厳しくなつたので、手放しました。長距離を高速で快適にドライブできる車が可愛想になつたからです。

の生産のピークは一九二五年から二五年。四・五リットルのベンツ・コンチネンタル、プガツチ、ロールス・ロイスなどクラシックものの多くは、この前後に作られたもの。買入人の好みに合わせて、外装は木とプラス、内装はオストリッパのシートに絹と金の飾りつけといったものが永久の使用に耐えるように作られていました。美観と乗り心地の良さがスピードよりも重視され、今でも、作られた時と同じように走っているのです。

クラシック・カーにたいするイギリス人のノスタルジーがどれほど強いかわかるのが、クラシック・カーのレースです。そこには、もっと古い爆音をたてて走るオープン・カーが勢ぞろいしています。いっせいに勢いよくスタートといつても、人が走れば簡単に追いつけるスピードで、出るのはいくつもの爆音だけ。たいていはエンコしてゴールにたどりつけません。このようなレースに、十九世紀の紳士、淑女の装いで、真面目くさって参加する。イギリス人気質の真骨頂でしょうか。

広告

ご意見・感想募集
この広告企画についての意見・感想をお寄せ下さい。見・聞き取り、その製法、京阪東山線、その他のような内容でも結構です。抽選で6名様に各500円をさしあげます。応募はがきに住所(郵便番号)、氏名、年齢、職業、電話番号を明記の上、左記までお寄せ下さい。
〒540 大阪市東区京橋朝町1-11
日本経済新聞大阪本社
庶務課M.M.係
昭和57年12月2日
(当日消印有効)
なお当選者の発表は賞金の発送をもってかえさせていただきます。